



山中町の温泉施設でレジオネラ感染による死亡事故が起きた。ちょうど、そのころ、NHKの「クロージアアップ現代」でもレジオネラ感染を取り上げていた。その関連か、先日ある施設に宿泊した時、お風呂に行くとき通常なら石鹸のかぐわしい香りのする脱衣所が塩素の臭いで充満していた。

「塩素のせいか、くしゃみが止まらなくなる」「塩素が強くて、肌が悪そうだから湯船に入らなかつた」などと、先に入られていた方々が話していたが、お風呂

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

風呂に入ると塩素の臭いは確かにあり、しばらくすると、突然くしゃみが出だし止まらなくなった。あわてて、脱衣場に出たら止まったが、身体にいいはずのお風呂が、これではいったいどうなるのだろう。感染を防ぐために人間への多少の影響はやむを得ないのだろうか？ 理解に苦しんだ。

そのうえ、検査に関して考えられない対応もあった。

次の日、朝風呂に入りに行った。脱衣所にいると突然男性が入ってきたので、宿泊客が間違っただけかと思つた。ところがお風呂から出てフロントを通ると、宿の人が「市の職員の方が、誰もいないと思つて検査のため風呂場に入った

私たちの健康守れるの？

と、あやまっておいてほしいと言つて、帰っていかれました。」

「えー！ 市の職員の方ですか？ 女性風呂に人がいるいなかかわらず、営業時間に男性が入ること自体おかしくないですか？」

「貴女が入られているのはわかっていたので、職員の方に声を掛けようとしたら、間にあいませんでした。今、レジオネラ感染の件で検査にまわっているらしいですよ」

どういった状況であれ、市の職員の方の行動としては腑におちなかつた。

次の日、その市の代表電話に「レジオネラ感染の担当の課をお願いします

と掛けると、「市ではすいませんので保健センターに掛けてください」と言われた。保健センターに掛けると、「それはこちらでありません。市に掛けてください」と言われたので、市からさらに掛けるように言われたという

と、「それは、保健所に掛けてください」と言われた。保健所に掛けるように言われたという

「苦情処理の課をお願いします」と言われ、「ありません。さすがに言葉がなかつた……」

しかたがないので、「その市の所属する県庁」に電話を掛けて、「レジオネラ感染の担当窓口をお願いします

ます」「責任者の方をお願いします」で、出られた方に事情を説明すると「モラルの問題は管轄外ですから、その職員が所属する所に言ってください」と言われてしまった。

いったいどうなっているんだろう？ レジオネラ感染で亡くなった方もいらっしゃるにしろ、窓

口もわからぬ検査に回っている職員の行動指針はどうか管理しているのだろうか？ モラルと検査は管轄が違つたのだろうか？

塩素が強くまともに入れないお風呂と、検査官の常識外のモラルと、たらい回しの対応で、どうやって私たちの健康を守れるのだろうか？ この疑問に答えてほしい。